

第74回利根川水系連合・総合水防演習

水防団等による利根川の被災特性や地域に即した実践的な水防工法の実施、住民の適切な避難行動に結びつく、わかりやすい防災情報の発信や多様な手法による避難の呼びかけ等、関係機関が連携した救出・救護訓練等、タイムラインに沿った実践的な演習を実施しました。

- 開催日時 令和8年5月16日（土） 9:30～12:50
- 実施場所 利根川左岸159.0km付近（群馬県邑楽郡千代田町赤岩地先）
- 実施演習 水防工法訓練、自衛水防訓練、住民避難訓練、要配慮者利用施設合同避難訓練、救出・救護訓練、氾濫水排除訓練他
- 実施団体 館林地区消防組合消防団及び消防本部、千代田町、群馬県、国土交通省関東地方整備局を含む38機関、約1,000名
- 見学者 笹川博義議員・福重隆浩議員・青木ひとみ議員、大使等13か国21名、沿川首長を含む約7,000名
- 解説者 清水 義彦 群馬大学名誉教授（ICHARM 研究・研修指導監、TEC-FORCEアドバイザー）



開会式

開会式では、金子国交大臣、津久井群馬県副知事、高橋千代田町長、多田館林市長、池内全国水防管理団体連合会長が挨拶。橋本整備局長より水防団体に対する訓示を行った。



金子
国土交通大臣



津久井
群馬県副知事



高橋
千代田町長



多田
館林市長



池内
全水管会長



橋本
関東地方整備局長

実施した主な演習

■ 水防工法訓練



洗掘防止工法実施
（シート張り）



水防団による訓練
（積土のう）



統監部による視察
水防工法訓練、激励

■ 自衛水防訓練



自主防災会等による
自衛水防訓練



統監部への
浸水防止工法の説明
（改良積土のう工法）

■ 関係機関との連携による総合的な訓練



無人BHを用いた道路啓開訓練
（TEC-FORCEパートナー）



氾濫水排除訓練
（TEC-FORCE予備隊員と合同作業）



群馬県防災航空「はるな」
による被災者の救助



陸上自衛隊軽門橋
による孤立住民救出



web会議による
ホットライン

閉会式

閉会式では、林水管理・国土保全局長が講評、福田群馬県河川課長が閉会の辞を述べた。



林水管理・
国土保全局長



福田群馬県
河川課長



閉会式の様子

■ 進行・解説



清水名誉教授による解説
（TEC-FORCEアドバイザー）

訓練のポイント

- 利根川の被災特性や地域に即した実践的な水防工法の実施。
- Web会議による河川管理者と沿川自治体（千代田町長、館林市長、明和町長、板倉町長等）とのホットライン訓練を実施。
- 自主防災会、大学生、中学生による自衛のための浸水防止対策（簡易水防工法、改良積土のう）訓練を実施。
- 消防、赤十字、警察、自衛隊等の各機関が連携した水難救助訓練を実施。
- NHK、読売新聞、上毛新聞など、計13名（8社）が取材。

■ 展示ブース



展示ブースにおける
広報の様子



展示コーナー
（TEC-FORCE隊員体験）